

～初心者にもオススメ～ 升田山

水管橋の北に位置し、標高105mと、比較的初心者にも登りやすい。2019年8月には登山道も整備され、案内板やガイドチェーンも設置されました。登山口は、升田登山口とウェルネスパーク側登山口など。両登山口間は約1.6km。1時間弱で行けるので、気軽に登山を楽しむことができます。初心者はもちろん、ファミリーにもオススメです。



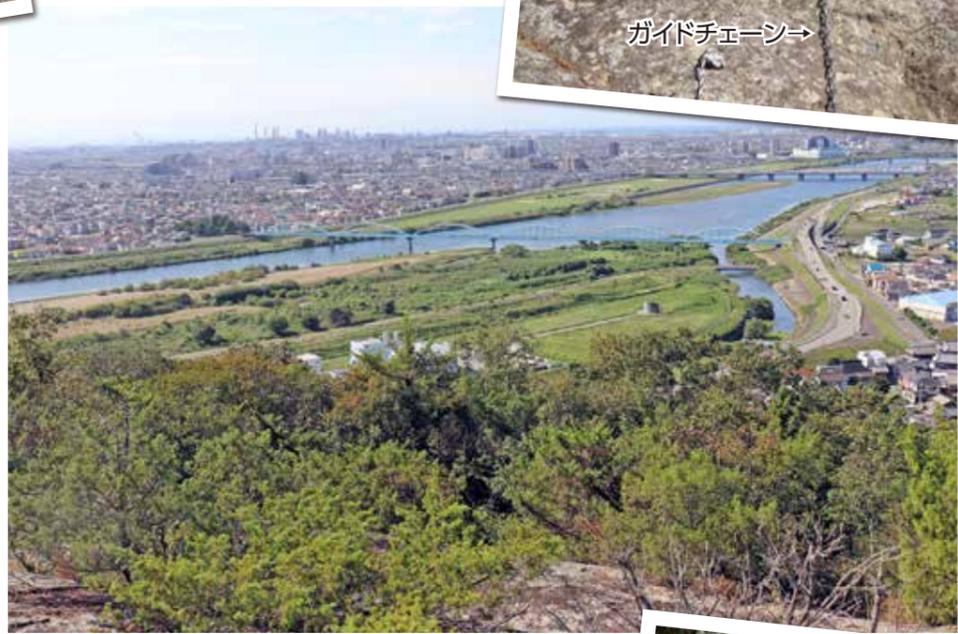
升田山の東側には「八十の岩橋」と呼ばれる自然にできた石段があり「播磨国風土記」には、この石の階段を80人の神が、天と地を行き来していたと言われています。急傾斜部にはガイドチェーンが設置されていますが、滑り止め付きの軍手があると、より安全。下りは少しずつ慎重に。岩の窪みをうまく使えば、案外、楽に下りられます。



ガイドチェーン→

升田登山口からの登り道は、階段や岩場を登っていきませんが、急な箇所にはチェーンが設置されており、20分ほどで頂上へ。山頂～ウェルネスパーク登山口は、一部岩場があるものの、高低差は緩め。道中の木々の匂いを感じながら散策が楽しめます。

頂上からは眼下にキラキラと川面が輝く「清流加古川」が。反対側には平荘湖。心地よい汗と爽やかな風で気分爽快！



さあ！山に登ろう！～GoToかこがわmountain～

「登山なんてしたことがない・・・」なんて心配ご無用！加古川には標高が比較的低く、初心者にも登りやすい山が多くあります。その中からいくつかオススメの山をご紹介します。澄み渡る青空の下、爽やかな風を受けながら山に登ってみませんか？山頂で胸いっぱい吸う空気は格別です。さあ、山に登って心も体もリフレッシュしましょう！！

～「播磨富士」から望む大パノラマ～ ^{たかみくら}高御位山

加古川市と高砂市との市境にある山で、「播磨富士」とも呼ばれているのが高御位山。標高は約304mで、古くから山全体を御神体とした山岳信仰の名残を今も伝えています。

山頂には、高御位山神社や大正10年にグライダーで関西初飛行を成し遂げた、志方町出身の渡辺信二氏の偉業をたたえる「飛翔の碑」が建っています。

高御位山登山を日課にしている地元登山者もいて、休日にはたくさんの登山愛好家が訪れる人気の山です。初心者には、成井登山口からのルートがオススメ。往復約90分。季節やルートを変えて何度でも楽しめます。



登山道は、階段や手すりが整備されているので、足元は安心。十丁付近にはテーブルと椅子もあるので、休憩しながらいきましょう。



「播磨富士」の名にふさわしく、加古川市から高砂市にかけてそびえ立つ高御位山。鷹の巣山や地徳山なども連なり、その峰々は播磨アルプスとも呼ばれています。



山頂から眺める景色は格別です。お子さん連れは、切り立った崖には注意が必要。山頂にはバイオトイレもあるので、安心です。

播磨灘に浮かぶ家島諸島・淡路島も見ることができ、天気が良ければ四国まで。記念写真スポットにオススメです。

初心者から楽しめる山をご紹介しますが「ウォーキング感覚」は危険です。歩きやすいスニーカーや、両手が空くようなリュックサックなどのほか、水分補給のための飲物や、軍手なども用意するようにしましょう。

また季節柄、登山道には枯葉も多く落ちています。雨上がりなどは足元も滑りやすくなっていますので、注意しましょう。マムシにも注意。登山道から外れてしまわないよう気をつけて。



登山に慣れた上級者の方は、升田山の夕日や、高御位山の朝日なども楽しむこともできますが、周囲が暗いなかでの登山・下山となりますので、足元・登下山のルート確認などくれぐれも注意するようにしてください。



登山道には、表示板(写真右)のほか、ピンク色のリボン(写真左)が進行方向の目印として各所に。どちらに進んだらいいのかかわからない時は、これを目印にして。



頂上には「高御位大明神」のお社もあります。

